

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、軟調なボベスパ株式指数に連れる形で、レアルが対ドルで一時売られる展開となり、午後にかけて2.59台前半まで上昇した。ペトロプラスは28日、汚職疑惑の業績への影響が明らかにされず、昨年11月から遅延していた第3四半期決算を公表(未監査ベース)。しかし、投資家が期待していた汚職スキヤンダルに関連する評価損については数値化がされておらず、内容は市場の失望を誘うものとなった(同期純利益は前年同期比9.1%減の約12億ドル。精製その他のプロジェクトを獲得するため、業者が賄賂を支払ったとされる契約に関連する資産1880億レアルの内、最大で889億レアルの過大評価が判明したもの、賄賂とは無関係の資産も含まれるため、評価損としての決定に至らなかった。4月末までに公表される監査済み第4四半期決算で評価損を計上する公算)。これを受け、同社株は前日比11.2%まで急落した。

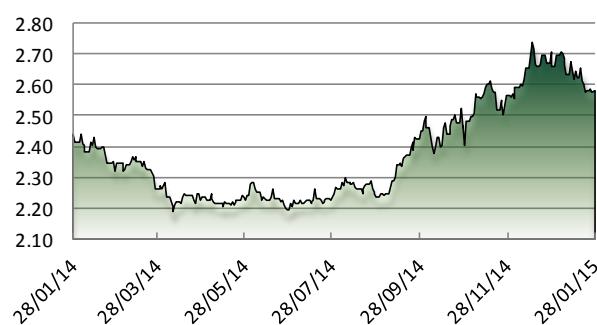
FOMC後に公表された声明文の内容は、概ね市場予想に沿ったものとなった。フォワード・ガイダンスに関する記述では、「相当期間(considerable time)」との文言が外れる一方、「辛抱強く(patient)」は維持。景況判断に関する評価はそれぞれ上方修正された(経済活動:「緩やか(moderate)」→「堅調(solid)」、雇用:「堅調(solid)」→「力強い(strong)」)。足許のインフレ率については、原油価格の下落を主因として、「さらに低下した」と判断しているが、この要因を除けば中長期的に2%に向けて緩やかに上昇するとの見方を維持しており、「基調的なインフレ率は安定している」とFRBは考えていると推測される。最初の利上げを判断する要因として「国際情勢(international developments)」との文言が追加されたものの、FRBは引き続き金融政策の正常化に向けて舵を切ると見られる。

マーケットデータ

Indicator	Unit	1月27日	1月28日	前日比	12月26日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	45.81	45.62	-0.19	45.10	+0.52
USD / BRL Spot	BRL	2.5735	2.5766	+0.0031	2.6692	-0.0926
USD / JPY Spot	JPY	117.87	117.54	-0.33	120.31	-2.77
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	48,591	47,695	-896	50,145	-2,450
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	199.7	209.4	+9.7	183.9	+25.5
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	11.77	11.80	+0.03	12.43	-0.63
DI Future Apr16 (金利先物)	%	12.65	12.65	+0.00	12.98	-0.33
3 Months US Dollar Libor	%	0.253	0.253	+0.000	0.257	-0.004
CRB Index (国際商品指数)	Index	217.9	215.0	-2.9	234.6	-19.6

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

